



LIBRARY NEWS No. 9

2025年1月発行

新しい年がはじまりました。1月のことを日本の古い呼び方で『睦月』といいます。新しい年をみんなで「なか睦まじく（なかよく）祝う月」という意味です。図書室が、“いい思い出の場所”“素晴らしい本と出会える場所”になればと思います。



♪学校図書館よりお知らせ♪

●閉館日 1月10日(金)、1月30日(木)

●1月8日(水)より通常貸出を行っています。

冬休み中に借りた本の返却は、1月15日(水)までとなっています。延滞しないよう、早めの返却をお願いします。



探しています！

この本を探しています。発見！したときは、図書室までお願いします！！

書名	著者	分類	バーコード
あなたが母親の手料理を食べられる回数は、残り328回です。	上野 そら	913ウ	586107450
かわいいパリのハンドメイド ミサンガ	フロランス・ペロー	594カ	586111247
さよならも言えないうちに	川口 俊和	913カ	586125148
ハイキュー！！ショーセツパン！！ 4	古舘 春一／原作 星 希代子／ノベライズ	913ハ4	586107369



★市内中学校おすすめの本★

3分間ミステリー
かくされた意味に気がつけ
るか？真実を知るのは誰？
(緑川 聖司)

● 取手第一中学校 ●

普通に読んだだけでは気づけない、物語のなかの小さな違和感。かくされた意味に気づくと、物語の「意味」が変わる！ 1分から3分で読める、意外な結末のショートショート54編を収録。

魔女の家
エレンの日記
(ふみー)

● 取手第二中学校 ●

私が欲しいのは、つねにこの身体にとどまる、あたたかいもの。私を満たしてくれる何か。その正体が何かは、わからない…。フリーホラーゲーム「魔女の家」のはじまりに至る物語。

四つ子ぐらし ①
(ひの ひまり)

● 永山中学校 ●

宮美三風は、家族のいない、一人ぼっちの12歳。ところがある日、四つ子だったことが判明した。顔や声はまったく同じ女の子だけど、全然違う4人が一緒に暮らすことになったが、四つ子だけの生活はトラブルだらけで！？

54字の物語 11
意味がわかるとソクソクする
超短編小説
(氏田 雄介／編著)

● 戸頭中学校 ●

1つの話が54字ピッタリで終わる超短編小説集。「気まぐれなサラダ」「ドーナツのお裾分け」「専用ビスケット」など、食にまつわる物語と解説文を、イラストとともに収録する。

本を守ろうとする
猫の話
(夏川 草介)

● 藤代中学校 ●

高校生の夏木林太郎は、祖父を突然亡くした。祖父が営んでいた古書店をたたみ、叔母に引き取られることになった林太郎の前に、人間の言葉を話すトラネコが現れ…。

貸出状況

12月の貸出数：212冊

《貸出数ランキング》

第1位	2-1	50冊
第1位	2-4	50冊
第3位	1-3	24冊
第4位	3-1	16冊
第5位	3-3	14冊

各クラスの貸出数は、図書室前・1階掲示板に掲示します。



ただいま展示中

★ 干支にまつわる話

★ 取手市公立小中学校の『みんなにすすめたい一冊の本』

★ 南中図書委員＆美術部員の『みんなにすすめたい一冊の本』